豊洲ガーデンクラブ新聞

自然の理にかなったガーデン作りって?

朝晩冷え込むようになりました。 心地よい秋風の中、紅葉していく木々 を眺めていたのも束の間、北風が吹く 季節はすぐそこに。植物たちは季節の 変わり目に敏感です。花は種になり、 多年草の根元には小さな芽がたくさん 付き始めます。多くの植物は寒い冬を 乗り切るために種や根っこに栄養分を 蓄えて休眠。ガーデンは徐々にさみし い景色になっていきます。





最近では花が終わった後の種姿や 冬枯れを自然の風景として楽しむ「ナ チュラリスティックガーデン(自然 主義的な庭園)」が、世界的なブーム です。気候変動による過酷な気象状 況や無駄なエネルギーの消費を見直 す流れからガーデンの作り方も変化。

過度な肥料や化学物質の使用、手入

れの手間を減らすため、多年草を多 用し、自然に見える風景を作ります。

豊洲公園では種から育てる一年草 が冬にも咲き、まったく花が無くな ることはありませんが、出来るだけ 自然に逆らわず、植物に負荷をかけ ない育て方をしています。植物が生 きる環境を整え、そっと手を添える 程度にすると、植物自身が体力をつ け、想像以上に丈夫に大きく育って くれます。

秋から冬にかけて、花は種姿になり、 葉は紅葉し枯れていく。その風景は自 然そのもの。冬に向かっていく自然な 風景を美しいと感じ取れる感性を養い たいですね。



張し始める黄金色やピンクの穂をつけるグラス類 (イネ科の植物) など、繊細な変化を楽しみましょう。



カラマグロスティス ブラキトリカ 放射状にしっかりと自立する株姿が 魅力。秋には黄金色の稲穂が。暑さ 寒さに強く育てやすい。



ミューレンベルギア カピラリス 細いグレーがかった葉が美しく、秋 には霞がかかったようなピンクの 穂が現れ存在感が増す。



やわらかい淡紫の花色が一面に咲く 大型のキク科の植物。秋の風情を



赤葉が魅力のイネ科の植物。自立し た株姿で花の引き立て役として重宝。 秋には穂が実る。

パニカム チョコラータ

ハゴロモフジバカマ



ベロニカ フェアリーテール 夏から秋まで繰り返しよく咲く。美し いピンクの花で秋のガーデンに色を 添えてくれる。



スティパ テヌイッシマ ふんわりとした弧を描き風になびく 株姿が美しい。秋には穂が現れ、色の 変化も楽しめる。



小型のイネ科の植物で、可愛らしい ピンクの穂が枝先につく。葉はグレー がかり、株姿も美しい。



秋の七草にも登場するフジバカマ。 「羽衣」は葉に切れ込みがあり、株姿が 涼しげ。蕾姿が長く花は存在感が薄い。

ピックアップ

TOYOSU 花文字

豊洲公園のゆりかもめ側、「TOYOSU」 の花文字を植えました! ゆりかもめの 30 周年を記念してロゴマークの色、青と赤 を使用。歩いている人の目線で植えてい ますが、ゆりかもめからも読めるのでぜ ひ確認してみてください!



季節のワンポイントケア

夏の花の冬越し

夏の花の中には寒さに弱いため枯れる「一年草扱い の多年草」がありますが、工夫次第で越冬可能。根元 に来季用の芽がついているので今年伸びた枝は切り落 とし、株を小さくします。防寒対策に窓から少し離れ た明るい室内に置き、水やりは頻度を減らし暖かい日 の午前中に。冬を越せれば来季も花を咲かせます。





豊洲公園のガーデンづくりと ガーデンクラブの特徴

- できるだけ自然に近い姿かたちで 植物が生き生きと育つ風景をめざしています
- 植物を介したゆるやかな コニュニティで地域とのつながりをつくります
- 年間を通して植物の成長を見守り、一緒に公園の景観としてのガーデンを育てます
- ガーデナーが植物の知識を地域に広めています
- ●種から植物を育てています
- ●年間200種類以上の植物を育てています
- 毎年新しい植物に出会える機会があります
- 循環型のガーデンづくりをしています



月ごとの主な作業

4月・5月

夏の花のポット上げ・植栽・除草・切り戻し

6月・7月

夏の花の植栽・除草・切り戻し 春の花の採種

9月

冬から春の花の種まき・除草・切り戻し

10月

冬から春の花のポット上げ・除草・切り戻し

44 5 40

11月・12月 冬から春の花の植栽・除草・切り戻し夏の花の<mark>採種</mark>

2月・3月

夏の花の種まき・除草

豊洲ガーデンクラブは 「豊洲グリーン100プロジェクト」の ひとつです

100年先まで続く美しい景観をみんな 詳しくはで育ててみんなで楽しむプロジェクト。 こちら自立した循環型の活動で、得た収益を生かし、豊洲ガーデンクラブの

toyosugururi.jp/event/green100/

活動費に充てています。



豊洲ぐるりパークセンター